

被爆75年事業

核兵器が存在することは 人類にとって何を意味するのか？

— コロナ危機の最中に考える —



SH

2020年8月9日(日) 18:00 - 20:00

オンラインイベント **事前登録** <https://bit.ly/2ZGKoqc>



※参加については事前登録をお勧めします。参加方法については後日 ICRC 駐日代表部 HP 上で告知します。

第1セッション (日本語) : 被爆の記憶を受け継ぎ、未来へと



田中 重光
長崎原爆被災者協議会会長
被爆者



田上 富久
長崎市長



岩高 史織
若者代表 (ナガサキ・ユース代表団 8 期生)



田平 由布子
若者代表 (家族・交流証言者)



宮本 聖二 ファシリテーター
Yahoo! ニュースプロデューサー
立教大学大学院 教授

(敬称略)

第2セッション (英語) : 核兵器のない世界をどう構築するか



ジル・カルボニエ
赤十字国際委員会 (ICRC) 副総裁



中満 泉
国連軍縮担当 上級代表



ベアトリス・フィン
核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)
事務局長



メアリー・ロビンソン
元アイルランド大統領
The Elders 会長



ジュリアン・ボーガー ファシリテーター
世界情勢エディター
英ガーディアン紙

(敬称略)

■ **主催** 長崎県、長崎市、赤十字国際委員会 (ICRC)

■ **後援** 日本赤十字社、Yahoo! ニュース、
核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)

■ **参加費** 無料

■ **使用言語** 日本語 / 英語 (同時通訳あり)

■ **問い合わせ先**
ICRC 駐日代表部 電話: 03-6628-5450
メール :tok_tokyo@icrc.org